

会社説明会

平成22年8月

株式会社 **ゲオディノス**

目 次



- ・ 前期トピックス P.3-8
- ・ 前期決算業績 P.9-14
- ・ 第1四半期決算業績 P.15-20
- ・ 中期計画とその取組み P.21-25
- ・ その他 P.26-28



前期トピックス - I

～役員体制スリム化と社名変更～



2009年3月

社長交代を機に、経営陣体制を大幅にスリム化

2009年10月



2009年7月

親会社である株式会社ゲオより社長を迎え入れ、グループパワー強化！
ゲオとディノスの融合をより深める事を内外に浸透させる目的で
社名を「ゲオディнос」に変更しました。



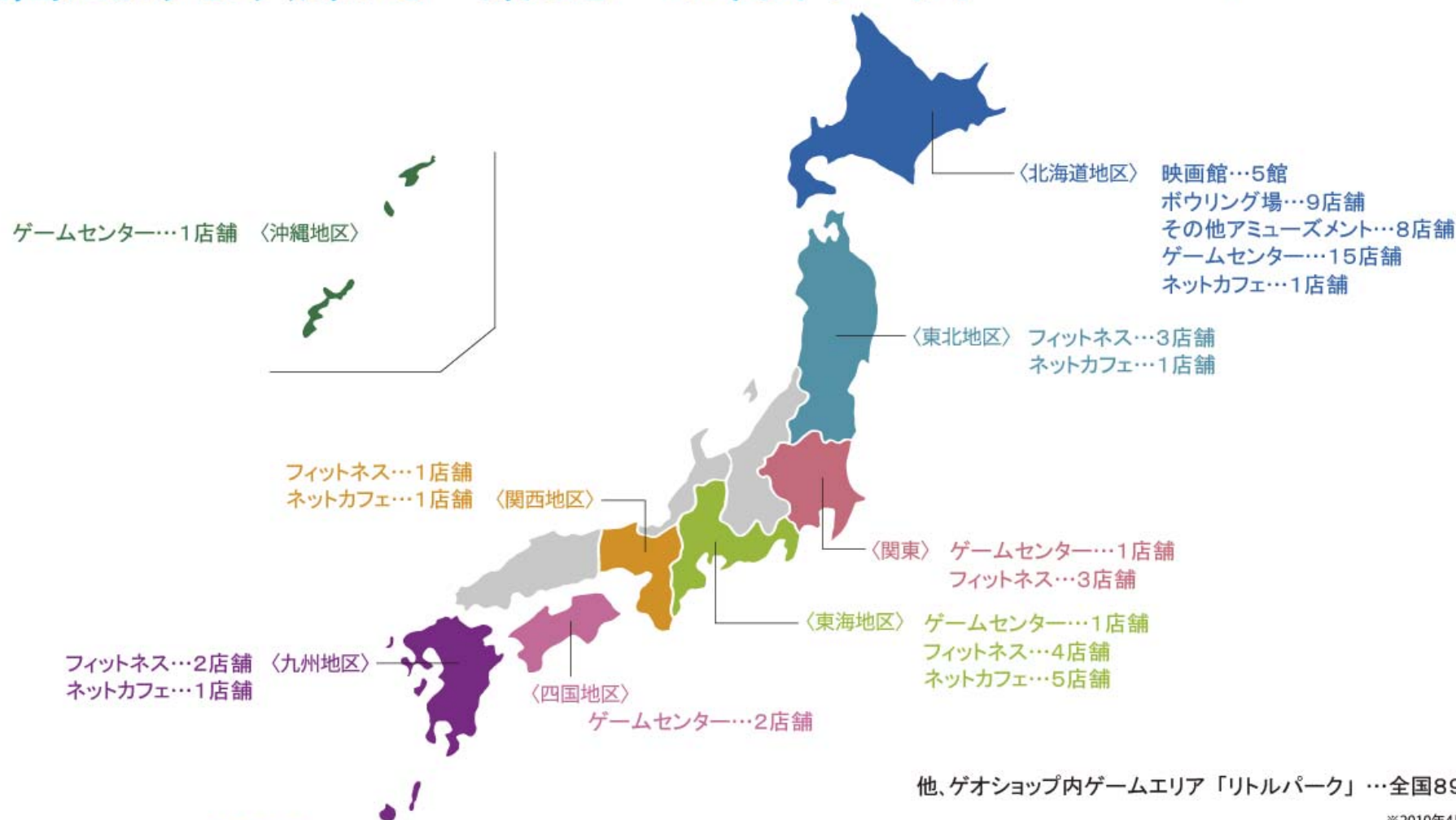
社内公募にて決定

北海道から全国へ

～ビジネスフィールド拡大～



全国にますます広がる“楽しさ”のネットワーク。



前期トピックス - II

～事業譲受～

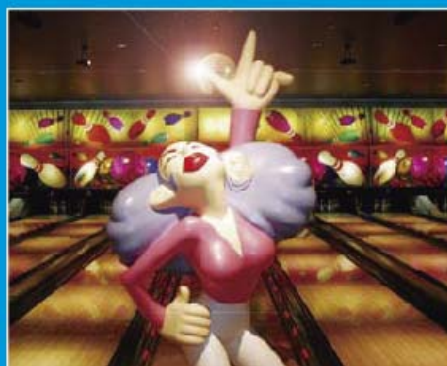


ゲオグループのレジャー施設事業が当社に一本化！
ビジネスフィールドが一気に拡大。

1
エンターテインメント
事業

既存の4つの
エンターテインメント

- シネマ
- ボウリング
- ゲーム
- フード&アミューズ
- ・ビリヤード
- ・ゴルフバー
- ・ダーツ etc.



2 フィットネス事業



3 カフェ事業



4 GAME事業



本州の「ゲオパーク」「リトルパーク」を譲受



従来事業に加えて…



前期トピックス -Ⅲ

～既存複合ビルの活性化～



大型複合店舗「ディノス」を活性化。
従来の考え方に捉われないテナント誘致を実施。

■ 飲食テナントの誘致

居酒屋チェーン大手「つぼ八」様と
テナント契約。互いの集客を生かした
相互送客策も実施。
高いシナジー効果を狙います。

・ディノス札幌中央

Pattern

1



ディノス札幌中央

■ カラオケチェーン店の誘致

業界内では店舗数の少ない当社カラオケ
事業は、スケールメリットでやや苦戦。
そこで、業界大手の「まねきねこ」を
テナント誘致し、自社運営からシフト。
ディノスの活性化を推進します。

- ・ディノス札幌中央
- ・ディノス札幌白石
- ・ディノス帯広

Pattern

2



ディノス札幌中央



ディノス帯広

前期トピックス -IV

～新規出店～



全国にネットワークを持つゲオショップの出退店とリンク。
ゲオショップの業態転換や共同出店を積極展開。

■ゲオショップの業態転換

北海道から沖縄まで全国にネットワークを持つゲオショップの店舗をそのまま活用したローコスト出店を行います。

- ゲオパーク旭川買物公園
- ゲオパーク伊達

Pattern

1



ゲオパーク旭川買物公園



ゲオパーク伊達

■ゲオショップとの共同出店

集客力と立地条件の高い優良物件を確保し、ゲオショップとアミューズメント事業を同時オープン。また、周辺市場に応じて既存ゲオショップのスペース有効利用する出店も行っています。

- ゲオパーク八街

Pattern

2



ゲオパーク八街

前期トピックス - V

～新規出店～



多様な地域特性に即対応できる充実の事業バリエーション。
エリアに制限されないアグレッシブな店舗展開が可能に。

■ゲオカフェ北海道初出店

札幌都心にある駅前通と狸小路が交差する
一等地にオープン。メディアショップの
業態転換で北海道初出店を果たしました。

・ゲオカフェ札幌狸小路店

Pattern 3



ゲオカフェ札幌狸小路店

■ボウリング単独出店 (ボウリング場の居抜き出店)

多彩なアミューズメントが集まる
複合施設にオープン。
既存の施設を譲り受け、設備投資が
大きいボウリング場の
出店コスト大幅軽減を実現しています。

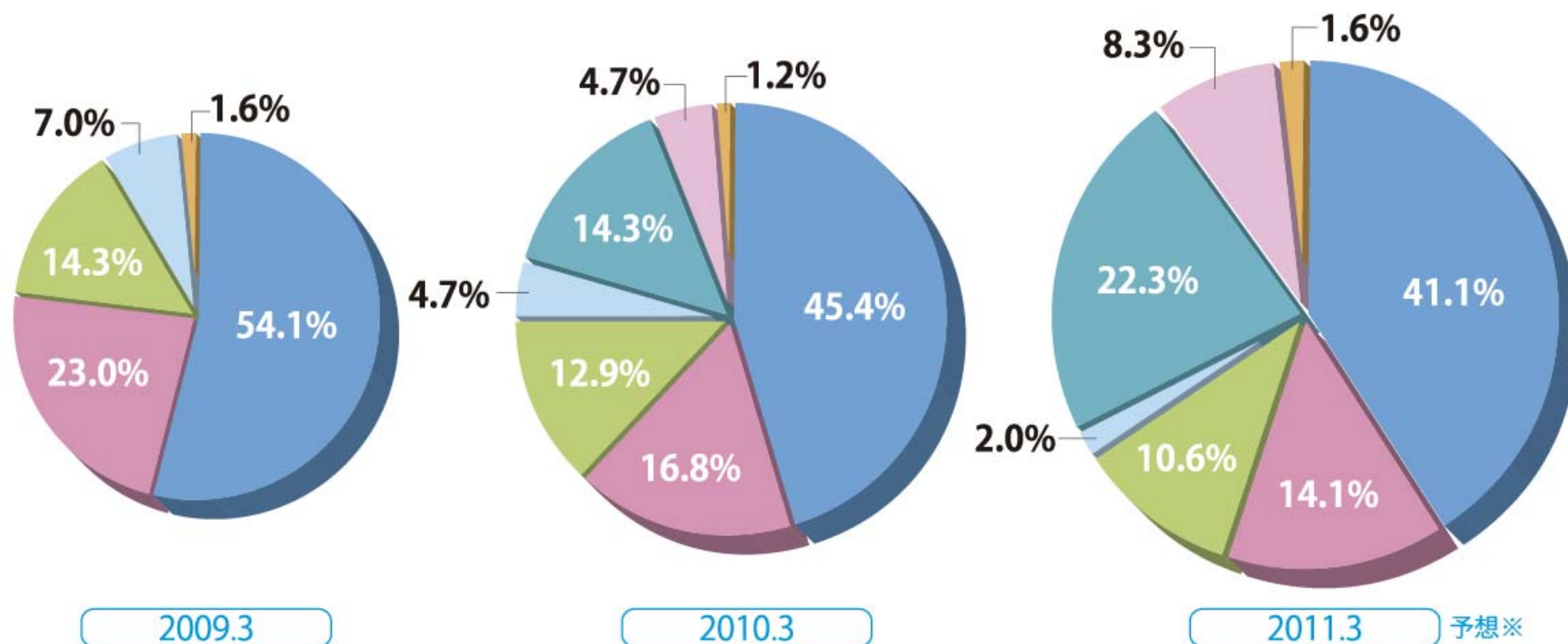
・ディノスボウル麻生

Pattern 4



ディノスボウル麻生

売上高構成推移 - I



■ GAME事業
 ■ ボウリング事業
 ■ シネマ事業
 ■ その他AM事業★1
■ フィットネス事業
 ■ カフェ事業
 ■ その他★2

★1.カラオケ、ビリヤード、ダーツ、ゴルフバー、バッティングセンター等 ★2.テナント賃貸収入等

※2010年4月1日現在

売上高構成推移 - II



予想※

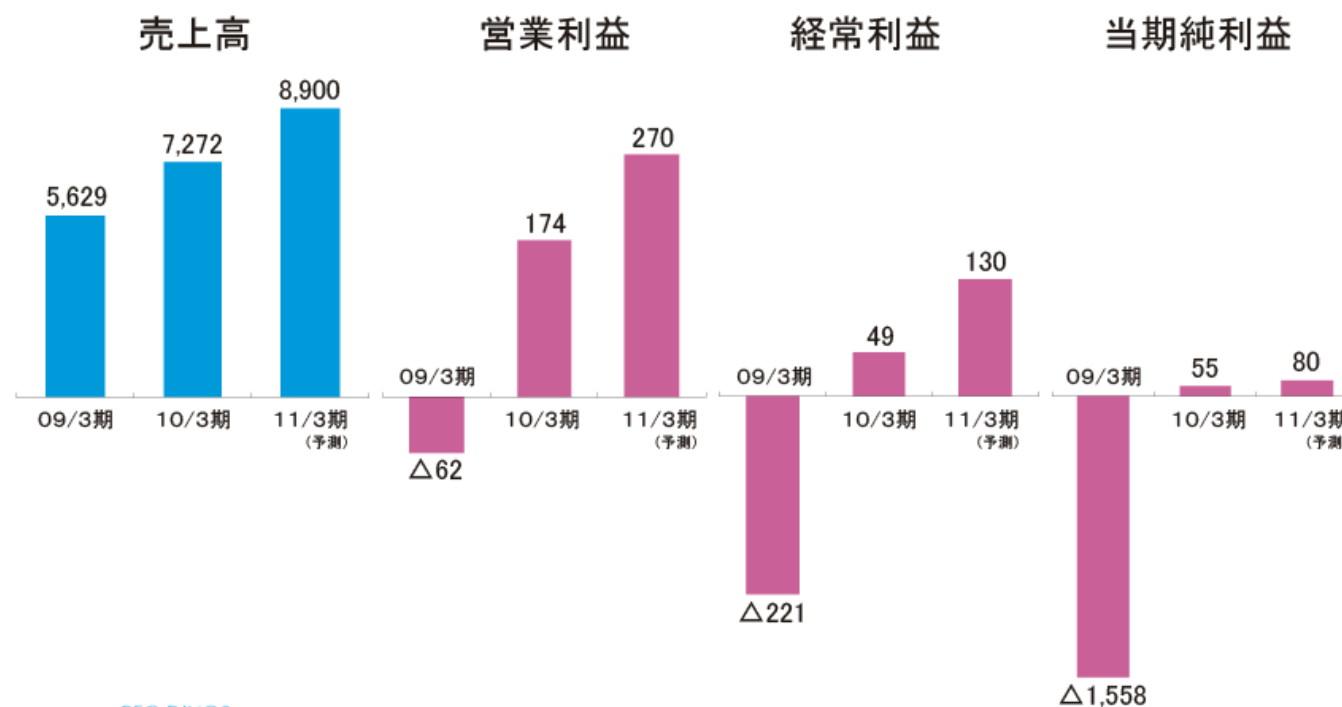
	2009.3	2010.3	2011.3
GAME事業	3,044	3,300	3,654
ボウリング事業	1,295	1,220	1,258
シネマ事業	806	937	939
その他AM事業	392	343	176
フィットネス事業	—	1,037	1,982
カフェ事業	—	339	735
その他	92	96	152
合 計	5,629	7,272	8,896

(単位:百万円)

損益実績と見込み



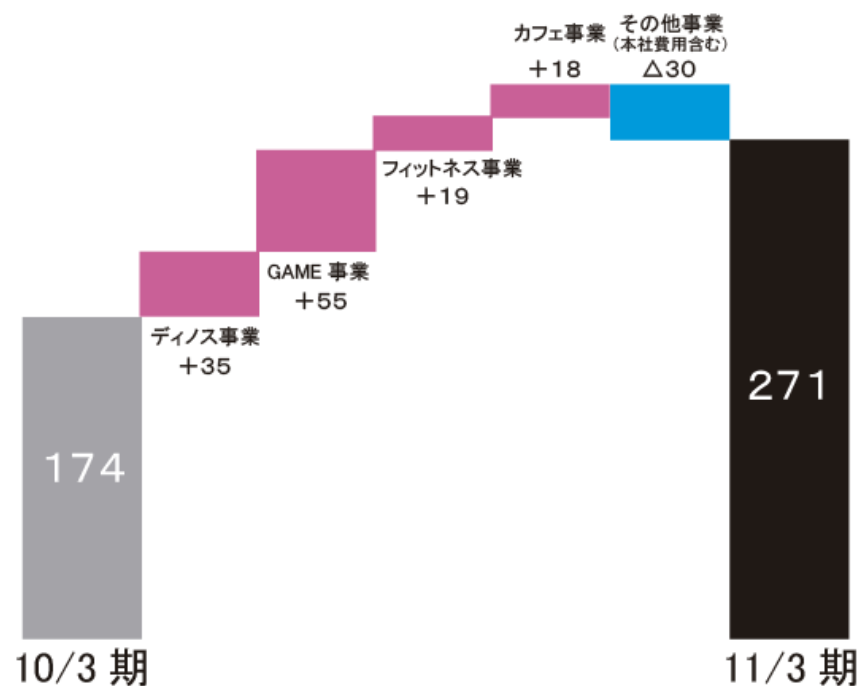
(単位:百万円)	2009年3月期	売上比	2010年3月期	売上比	前年同期比		2011年3月期 (予測)	売上比
					増減額	前期比		
売上高	5,629	100.0%	7,272	100.0%	1,643	129.2%	8,896	100.0%
営業利益	△ 62	-1.1%	174	2.4%	236		271	3.0%
経常利益	△ 221	-3.9%	49	0.7%	270		130	1.5%
当期純利益	△ 1,558	-27.7%	55	0.8%	1,613		80	0.9%



セグメント別業績



2011年3月期 営業利益 (予想)



(単位:百万円)		2010年3月期	2011年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
ディノス事業	売上高	2,500	2,373	△ 127	94.9%
	営業利益	205	240	35	117.1%
	(利益率)	8.2%	10.1%	-	+1.9p
GAME事業	売上高	3,301	3,654	353	110.7%
	営業利益	299	354	55	118.2%
	(利益率)	9.1%	9.7%	-	+0.6p
フィットネス事業	売上高	1,037	1,982	945	191.1%
	営業利益	73	92	19	125.9%
	(利益率)	7.1%	4.6%	-	-2.5p
カフェ事業	売上高	339	735	396	217.0%
	営業利益	26	43	18	168.5%
	(利益率)	7.6%	5.9%	-	-1.7p
その他事業	売上高	96	152	56	158.5%
	営業利益	△ 429	△ 458	△ 30	-
	(利益率)	-446.9%	-262.0%	-	-

貸借対照表 前期比較



有利子負債825百万円減少。

(単位:百万円)	2009/3	2010/3	増減
流動資産	726	550	△ 177
現金及び預金	526	219	△ 306
売掛金	82	149	66
有価証券	11	-	△ 11
商品及び貯蔵品	35	88	53
その他流動資産	73	96	24
貸倒引当金	△ 0	△ 2	△ 2
固定資産	8,210	9,415	1,205
有形固定資産	6,789	7,667	878
無形固定資産	13	34	21
投資その他資産	1,408	1,715	306
資産合計	8,937	9,965	1,028

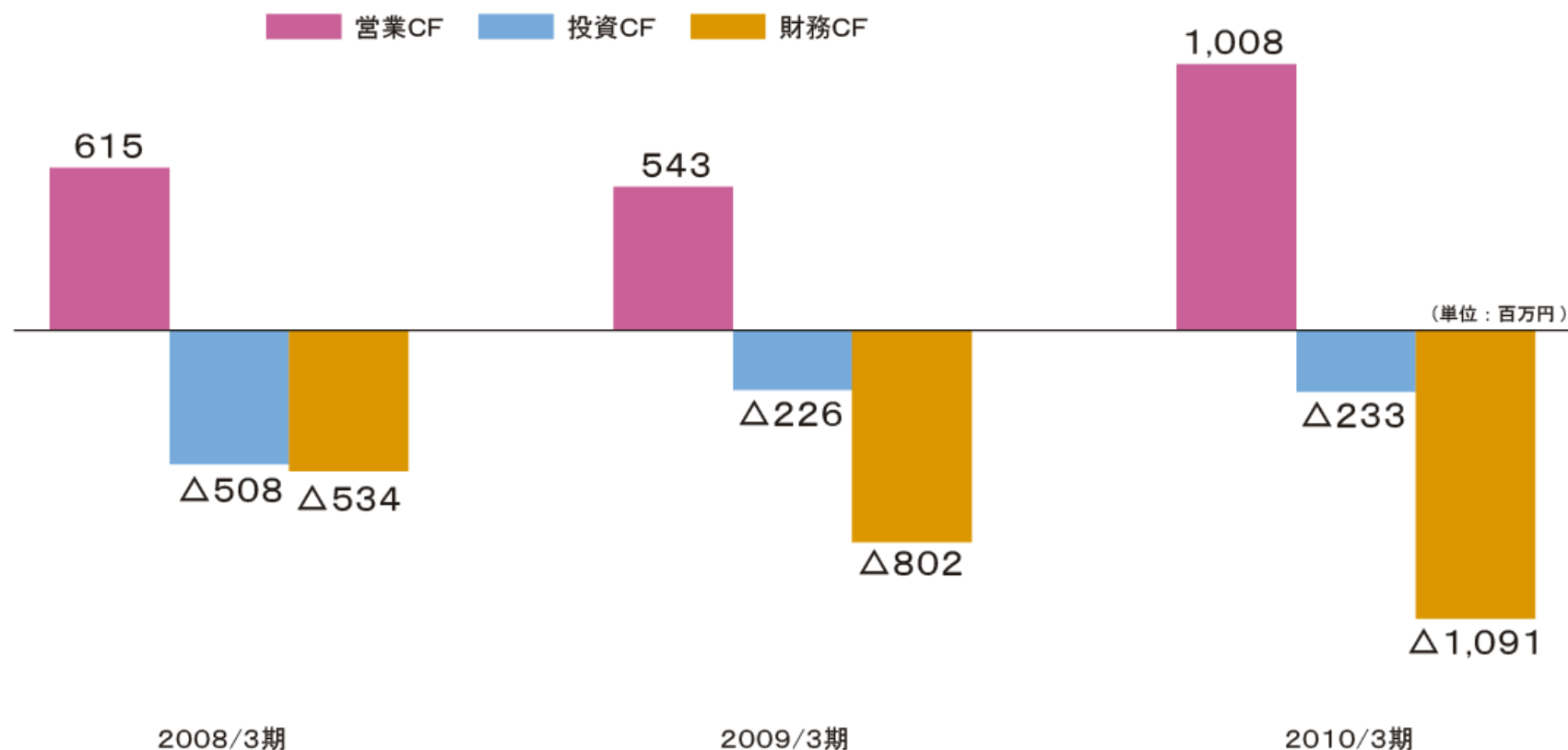
	2009/3	2010/3	増減
流動負債	2,163	2,873	710
買掛金	103	152	50
1年内返済予定長期借入金	1,409	1,447	38
1年内償還予定社債	75	48	△ 11
リース債務及び1年内返済予定長期未払金	97	364	267
その他流動負債	478	861	383
固定負債	4,461	4,704	243
社債	63	15	△ 48
長期借入金	3,630	2,826	△ 804
リース債務及び長期未払金	192	1,332	1,140
その他固定負債	577	531	△ 45
負債合計	6,624	7,577	953
株主資本合計	2,326	2,381	56
(うち自己株式)	(△ 11)	(△ 11)	-
評価・換算差額等	△ 13	7	20
純資産合計	2,313	2,388	75
負債純資産合計	8,937	9,965	1,028

※2010年4月1日現在

キャッシュフロー 前期比較



営業キャッシュフローが大幅に改善。



2011年3月期第1四半期概況

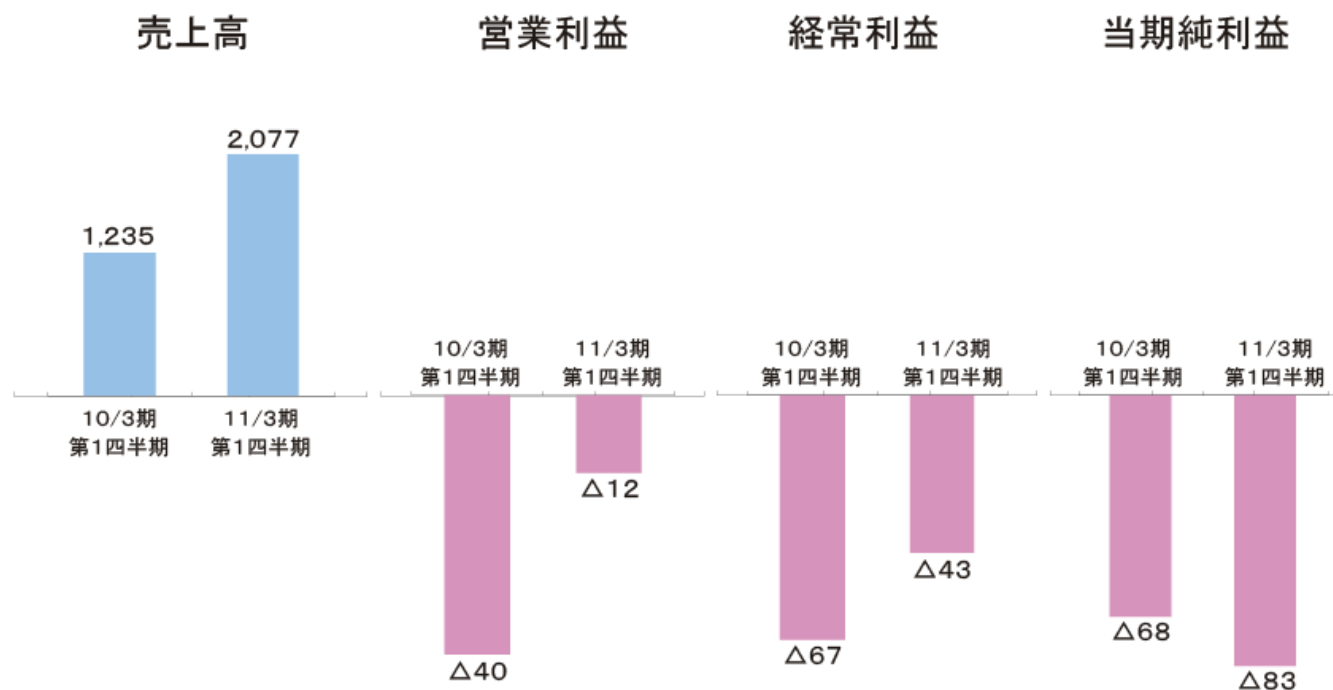
平成22年8月

株式会社 **ゲオディノス**

経営成績



(単位:百万円)	2010年3月期 第1四半期	売上比	2011年3月期 第1四半期	売上比	前年同期比	
					増減額	前期比
売上高	1,235	21.9%	2,077	28.6%	842	168.2%
営業利益	△ 40	-0.7%	△ 12	-0.2%	28	-
経常利益	△ 67	-1.2%	△ 43	-0.6%	24	-
当期純利益	△ 68	-1.2%	△ 83	-1.1%	△ 15	-



事業部別売上高



(単位: 百万円)		2010年3月期 第1四半期	売上比	2011年3月期 第1四半期	売上比	前年同期比	
						増減額	前期比
ディノス事業部	ボウリング事業	255	20.6%	271	13.1%	17	+6.5%
	シネマ事業	217	17.5%	201	9.7%	△ 15	△ 7.0%
	F A 事業	86	7.0%	34	1.6%	△ 52	△ 60.5%
	ディノス事業部計	557	45.1%	507	24.4%	△ 51	△ 9.1%
G A M E 事業部		656	53.1%	868	41.8%	212	+32.4%
フィットネス事業部			0.0%	496	23.9%	496	-
カフェ事業部			0.0%	169	8.1%	169	-
その他の		22	1.8%	38	1.8%	16	+70.9%
合計		1,235	100.0%	2,078	100.0%	843	+68.2%

セグメント別業績



(単位:百万円)		2010年3月期 第1四半期	2010年3月期 通年見込み
ディノス事業	売上高	507	2,373
	営業利益	△ 26	240
	(利益率)	-5.1%	10.1%
GAME事業	売上高	868	3,654
	営業利益	74	354
	(利益率)	8.5%	9.7%
フィットネス事業	売上高	496	1,982
	営業利益	22	92
	(利益率)	4.5%	4.6%
カフェ事業	売上高	169	735
	営業利益	13	43
	(利益率)	7.6%	5.9%
その他事業	売上高	38	152
	営業利益	22	81
	(利益率)	59.2%	53.3%

※ 左記のほかに各セグメントに
配分していない全社費用が
第1四半期117百万円
通年見込み539百万円
あります。

四半期貸借対照表 前期比較



有利子負債357百万円減少。

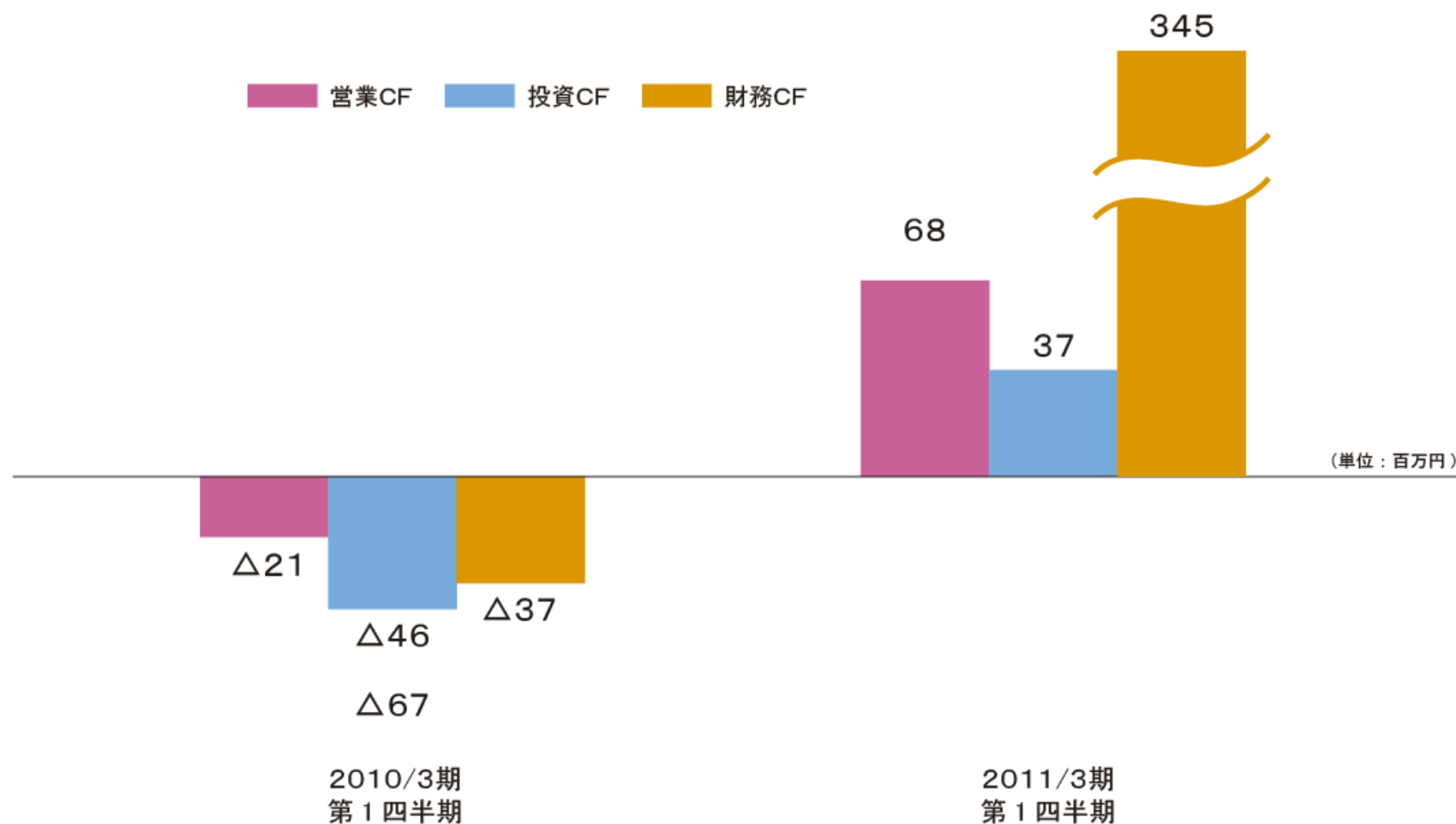
(単位:百万円)	10/3期 第1四半期	11/3期 第1四半期	増減
流動資産	587	1,004	417
現金及び預金	435	669	234
売掛金	56	101	45
有価証券	1	-	△ 1
商品及び貯蔵品	44	98	54
その他流動資産	50	138	87
貸倒引当金	△ 0	△ 2	△ 2
固定資産	8,104	9,358	1,255
有形固定資産	6,760	7,650	890
無形固定資産	12	32	20
投資その他資産	1,331	1,676	345
繰延資産		7	7
資産合計	8,690	10,369	1,679

	10/3期 第1四半期	11/3期 第1四半期	増減
流動負債	2,045	2,787	742
買掛金	105	137	32
1年内返済予定長期借入金	1,482	1,454	△ 28
1年内償還予定社債	65	100	35
リース債務及び1年内返済予定長期未払金	77	300	223
その他流動負債	316	796	479
固定負債	4,384	5,279	895
社債	40	240	200
長期借入金	3,578	3,015	△ 563
リース債務及び長期未払金	111	1,147	1,036
その他固定負債	655	878	222
負債合計	6,429	8,066	1,637
株主資本合計	2,257	2,298	40
(うち自己株式)	(△ 11)	(△ 11)	-
評価・換算差額等	4	5	2
純資産合計	2,261	2,303	42
負債純資産合計	8,690	10,369	1,679

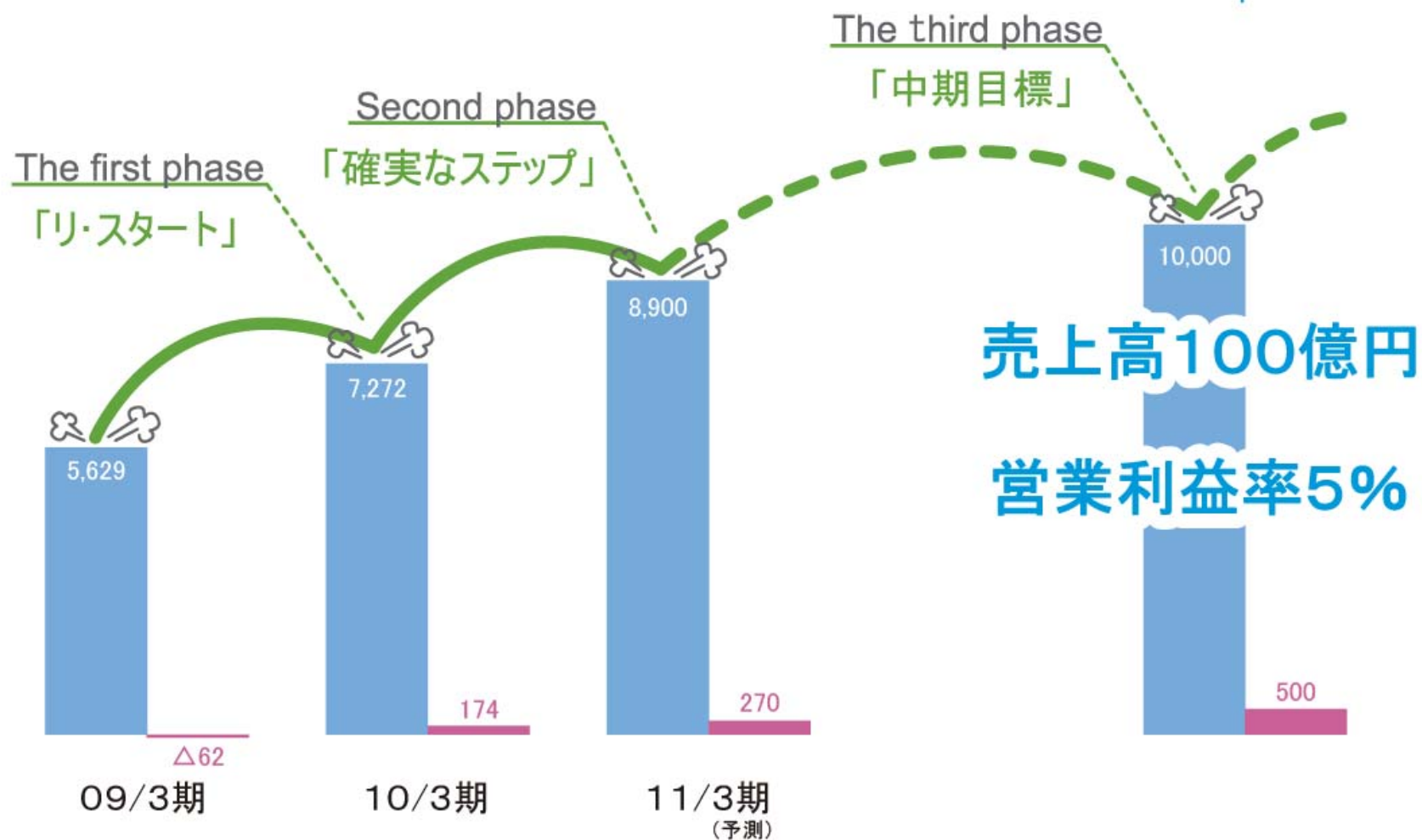
キャッシュフロー 前期比較



確実な回復基調。



中期目標

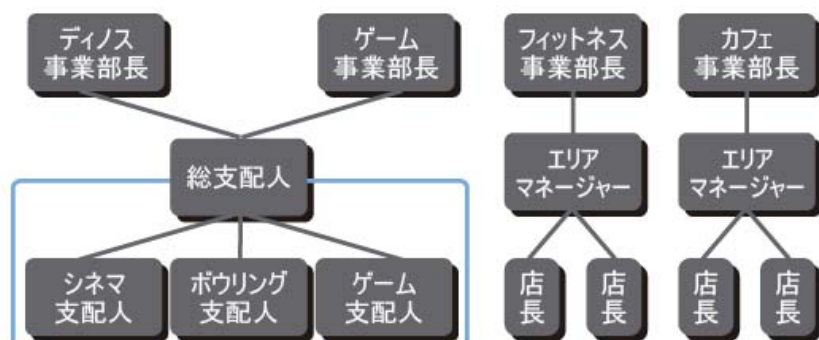


中期目標達成に向けた改革

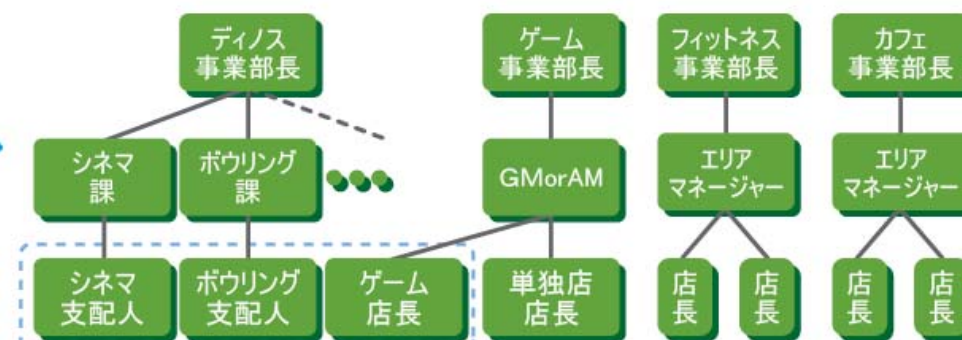


組織改革 ～専門化と組織力強化～

1. 営業部門…総支配人制から事業部制へ



総支配人は、店舗全体の収益に責任を持つ。
独自性・レスポンスに優れる反面、「個」の能力に頼りがちで不安定。

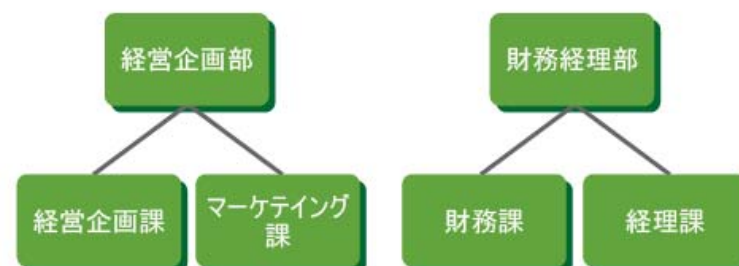


総支配人制を廃止し、事業単位の収益管理に移行。
専門性を高め、施策内容を強化。組織活動の強化でサービスの均一化。

2. 管理部門…経営企画機能強化



財務・経理と一体であった「経営企画課」を
分離、マーケティング課を加え、「経営企画部」
を新たに設立。実績・市場の分析能力を強化し
予算統制の精度向上。中期計画の具体化を推進。



中期目標達成に向けた改革



プロジェクトチーム発足 ～収益改善に向けたアクションプラン～

営業関連…売上獲得に必要な要素を分析。これに応じた施策毎にプロジェクトチーム結成。

顧客開拓

シネマ関連 サブチーム

- デジタルコンテンツ・貸館活用

店舗構造改革 チーム

- 共生しうるテナント誘致

認知強化

宣伝業務改革 チーム

- マス媒体活用・メール会員制度

周辺との共生 チーム

- 周辺店舗との相互送客のしくみ

集客力強化

ボウル関連 サブチーム

- ボウリング予約システム構築

宣伝業務改革 チーム

- 集客イベントの実施

サービス力強化

ボウル関連 サブチーム

- プライベートレーン構築

店舗構造改革 チーム

- 飲食サービスの提供

ゲーム関連 サブチーム

- 景品リクエスト制度構築

ゲーム関連 サブチーム

- ゲーム機種構成見直し

中期目標達成に向けた改革



プロジェクトチーム発足 ～新たな試み（実績例）～

例えば、右にあるフィルムコンサートもプロジェクトの1つ「デジタルコンテンツ活用チーム」の実績です。映画館を「映画を観る」場所とのみ捉えず、普及が進むデジタル化の流れを上手く利用して、今までご来場いただけなかった客層へ訴求していく。そんな試みを行っています。この他にも、周りを気にせずに楽しんでもいただけるボウリング「プライベートレーン」の実現や、予約管理を一元化し利便性を向上、またサービスを見直した「ボウリング予約システム」の構築など少し先行く「気のきいた」お店作りを推進します。



中期目標達成に向けた改革



プロジェクトチーム発足 ～管理部門課題解決～

システム化
チーム

●GEOインフラへの移行推進

経営企画機能
強化チーム

●PDCAサイクルの実行

業務見直し
チーム

●役割・業務分担の徹底

費用効率化
サブチーム

●全社的費用効率化推進

購買業務集約
サブチーム

●事業毎の購買機能集約検討

システム面では、親会社「GEO」のインフラとの親和性を高め、効率的に情報共有すべく、その再構築を実施中。

また、経営企画機能を強化し、中期計画達成可能な組織への変貌を目指します。

その他、業務分担（ヒト）や各種経費を見直し、効率化を推進します。



PDCAサイクルによって得られたノウハウを、次の収益改善策や予算精度の向上に活用。
システムのGEO化と共に、中期計画を達成し得る組織へ改革。

株主優待制度



ご支援いただきありがとうございます。

毎年3月31日現在、
当社の株を所有されている
株主様に対し、
株主優待券（当社施設招待券）を
年一回発行いたします。

また、お近くに株主優待券を利用いただける店舗が
ない場合や、ご使用になる予定のない場合、
代替品といたしまして右の2つのギフトから、
いずれかをお選びいただけます。

（贈呈基準等詳細につきましては、当社HPもしくは会社案内でご確認下さい。）



●株主優待券（当社施設招待券）



●「アサヒスーパードライ」ギフト



●「あいすの家」アイスクリームギフト

会社概要

(2010年4月1日現在)



会 社 名	株式会社ゲオディノス (英文標記：GEO DINOS Co.,Ltd.)
本 社 所 在 地	札幌市中央区南三条西1丁目8番地
設 立 年 月 日	1954年(昭和29年)5月
代 表 者 名	代表取締役社長 清水 松生
従 業 員 数	225名(この他、嘱託及び臨時従業員457名)
資 本 金	9億48百万円
発行済株式数	4,303,500株
株式上場市場	大阪証券取引所 JASDAQ 市場 (証券コード：4650)

AMUSEMENT DEVELOPER GEO DINOS

将来の見通しに関する記述についてのご注意

本資料に記載されている、当社に関する業績予想、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価ならびに業績等といった将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての内容は、当社が現在入手している情報に基づく、現時点における期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）についてはその性質上客観的には不正確であったり、一般的な状況、天候、景気および消費動向の変化、消費者の嗜好変化などによる潜在的リスクを含んでおり、将来その通りに実現するという保証はいたしかねます。

株式会社 **ゲオディノス**

〒060-0063 札幌市中央区南三条西1丁目8番地
担当 常務取締役管理本部長 吉住 実
TEL 011-241-3951 FAX 011-251-9781
Mail m.yoshizumi@geodinos.co.jp